|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **作成する内容** | **作成****チェック** | **備考** |
| **第１** | **目的と適用範囲** | **レ** |  |
| **第２** | **管理権原者の責任及び防火管理者の業務** | **レ** |  |
| **第３** | **火災予防対策** | **レ** |  |
| **第４** | **火災時の行動** | **レ** |  |
| **第５** | **放火防止対策** | **レ** |  |
| **第６** | **教育・訓練** | **レ** |  |
| **第７** | **震災対策** | **レ** |  |
| **第８** | **避難経路** | **レ** |  |

**消防計画チェックリスト例（集会所）**

（備考）

　作成チェックは、消防計画の作成者が、当該集会所の消防計画の作成にあたり、必要項目を確認し、作成したものについて「ㇾ」印でチェックしてください。

　　　　　　　　　　**①　〇〇自治会集会所**　　　　　　　　　　消防計画

**消防計画作成例（集会所）**

**②〇〇**年**〇〇**月**〇〇**日作成

|  |
| --- |
| 第1　目的と適用範囲 |

（１）　この計画は、消防法第8条第1項に基づき、**③〇〇自治会集会所**（以下「当該部分」という。）の防火管理についての必要な事項を定め、火災予防及び火災、地震その他の災害等による人命の安全、被害の軽減を図ることを目的とする。

（２）　この計画を適用する者の範囲は管理権原者、防火管理者及びその他当該部分に出入りするすべてのものとする。

|  |
| --- |
| 第２　管理権原者の責任及び防火管理者の業務 |

（１）　管理権原者の責任

　　ア　管理権原者は、防火管理業務について、全ての責任を持つ。

　　イ　管理権原者は、防火管理業務を適正に遂行できる者を防火管理者として選任し、防火管理業務を行わせなければならない。

　　ウ　管理権原者は、防火上の建物構造の不備や消防用設備等・特殊消防用設備等の不備欠陥が発見された場合は、速やかに改修する。

　　エ　管理権原者は、避難の支障となる物件を放置等されないように管理する。

（２）　防火管理者の業務

　　　　防火管理者は、この計画の作成について管理権原者の指示を受け、実行にあたってのすべての権限を有し、次に掲げる業務を遂行しなければならない。

|  |  |
| --- | --- |
| 　業　務 | 内　　容 |
| 点検・監督業　　　務 | １　火災予防上の自主点検の実施２　火気の使用、取扱いの指導、監督 |
| 教育・訓練指　　　導 | １　利用者に対する消火・通報・避難誘導などの訓練の参加呼びかけ２　自治会役員及び利用者に対する防火教育の推進（火災時の対応について等）３　放火防止対策の推進 |
| 管理業務 | １　収容人員の管理２　消防機関への届出及び連絡等３　家具、什器類等の転倒・落下・移動防止措置 |
| 点検立会業務 | １　消防用設備等の法定点検・整備の立会い又は立会いの指示２　改装工事などの立会い又は立会いの指示と安全対策の樹立 |
| 管理権原者への提案・報告業務 | １　防火管理上必要な事項の提案・報告２　点検・検査の結果についての報告 |

|  |
| --- |
| 第３　火災予防対策 |

（１）　利用者は、火気管理、出火防止及びこの計画を遵守し、火災予防を行うものとする。

（２）　廊下、避難口及び避難通路等には、避難障害となる物品等を置かないこ

と。

（３）　利用者は、指定された場所での喫煙や吸殻の処理について遵守するこ

と。

（４）　火災予防上の自主点検は、別表１（自主点検チェックリスト「火気管理」）及び別表２（自主（定期）点検チェックリスト「施設・設備」）に基づき実施する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 点検内容 | 点検実施日 | 点検実施者 | その他必要な事項 |
| 別表１ | **④　集会所利用時** | **⑤　利用者** |  |
| 別表２ | **⑥　〇**月**〇〇**月 | **⑦　防火管理者** |  |

（５）　法定点検等及び報告

　　ア　防火管理者は法定点検の実施時に立会い、又は立会者を指定し、不備欠陥個所を確認する。

　　イ　消防用設備等の法定点検は、法令で定める期限内に報告できるよう計画的に点検する。

消防用設備等点検時期　**⑧**　**〇**　月頃　　　　　**〇〇**月頃

対象消防用設備等**⑨　消火器　誘導灯　非常警報設備**

　　　　点検実施者**⑩　〇〇防災株式会社**

　　ウ　防火管理者は、法定点検結果を適宜確認し、その記録を管理するとともに、点検の結果、不備があった場合は管理権原者に報告し、改修計画を作成し計画的な改修を図る。

　　エ　消防用設備等点検結果報告書は、1年に1回消防署へ届出すること。

　　オ　消防用設備等点検結果報告書は「防火管理維持台帳」に編冊し、３年間保存する。

|  |
| --- |
| 第４　火災時の行動 |

　　利用者は、火災・地震発生時には、責任のある者を中心に次の活動を行う。

|  |  |
| --- | --- |
| 通報連絡 | ①　大声で火災を知らせ、非常ベルを鳴らす。②　１１９番通報を行う。③　到着した消防隊へ情報を提供する。 |
| 初期消火 | ①　消火器又は水バケツ等により初期消火を行う。②　天井に燃え移ったら避難する。 |
| 避難誘導 | ①　出入口を開放し、避難経路図に基づき大声で避難誘導を行う。 |
|  |
| 第5　放火防止対策 |

（１）　死角となる廊下、トイレ等に可燃物を置かない。また、これらの場所の巡視を行う。

（２）　建物内外の整理整頓を行う。

（３）　物置、空室、雑品倉庫等の施錠を行う。

（４）　最終帰宅者による火気及び施錠の確認を行う。

|  |
| --- |
| 第６　教育・訓練 |

（１）　管理権原者及び防火管理者は、利用者の防火意識の高揚と自衛消防活動能力の向上のための教育・訓練を次のア、イにより行うほか、あらかじめその旨を消防機関へ通報するものとする。

　　ア　教育

　　　　別紙１の「防災の手引き（集会所利用者用）」及び別紙２「火災時の対応について」を利用者の見やすい場所に掲示するなどし、防火意識の高揚を図る。

　　イ　訓練の実施時期

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 訓練種別 | 実施時期 | 実施内容 |
| 総合訓練 | **⑪　〇**月　**〇〇**月 | **⑫　初期消火・通報連絡・避難誘導** |

（２）　その他

　　　　防火管理者は、自衛消防訓練を実施しようとするときは、あらかじめ「自衛消防訓練通知書」を作成し、消防署へ届出を行う。

|  |
| --- |
| 第７　震災対応 |

　管理権原者は、震災発生時には、次により活動、措置等を行う。

ア　地震発生時は、身の安全を守ることを第一とする。

イ　緊急地震速報を見聞きしたときは、周囲の人に知らせるとともに身の安全

を確保する。

ウ　地震の揺れがおさまった後は、火気設備器具を確認し、出火防止に努めるとともに、火災を発見した場合は、利用者等で協力し合い、通報、初期消火

、避難誘導を実施する。

エ　救助を必要とする者が発生した場合、利用者等で協力し合い、初期救助・

　救護を実施する。

　　オ　避難経路図に基づき安全な場所へ避難させる。

この場合、電源ブレーカーを遮断すること。

|  |
| --- |
| 第８　避難経路 |

当該部分における避難経路は、別図のとおりとする。

　**⑬**

自主点検チェックリスト

別表１（自主点検チェックリスト「火気管理」）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施月日 | 火気の確認 | 吸殻の処理 | 建物内外の整理整頓（放火防止対策） | 実施者 |
| 　**４**月　**５**日 | **〇** | **〇** | **〇** | **消防花子** |
| **１０**月**１１**日 | **〇** | **〇** | **〇** | **消防太郎** |
| 　　月　　日 | **点検を実施した月日を記入してください。** | **点検した結果を〇、×で記入してください。月日を記入してください。（即時改修した場合は△）** | **点検を実施した人の氏名を記入してください。** |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  | **点検を実施したことを確認した防火管理者の氏名を記入してください。** |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 　　月　　日 |  |  |  |  |
| 防火管理者確認 | **防　管　太　郎** |

※点検を実施し、良の場合は〇を、不備・欠陥がある場合は×を、即時改修した場合は△を記入してください。

　なお、不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者へ報告をしてください。

自主（定期）点検チェックリスト

別表２（自主（定期）点検チェックリスト「施設・設備」）

　　　**〇〇**年**〇〇**月**〇〇**日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 点検項目 | 点検・検査結果 | 備考 |
| 消　防　用　設　備 | 【消火器】１．消火器の設置数、設置場所は適正か２．消火器及び噴射ノズルに変形、損傷はないか３．標識は、正規の位置にあるか | 適　・　否適　・　否適　・　否 |  |
| 【非常ベル】１．非常ベル、放送設備の電源は遮断されていないか２．音響装置の鳴動は適切か | 適　・　否適　・　否 |  |
| 【誘導灯】１．誘導灯は点灯しているか２．誘導灯、誘導標識の視認障害はないか３・変形、損傷、脱落、汚損等はないか**該当しない項目は、斜線「＼」又は二重線「〓」で抹消してください。** | 適　・　否適　・　否適　・　否 |  |
| 避難施設 | 【通路・出入口・階段等】１．避難に支障となる物品等を置いていないか | 適　・　否 |  |
| 火気使用器具 | 【ガスコンロ・ストーブ等】１．ガス配管等は、亀裂、老朽、損傷していない　か２　燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか３　火気使用器具の周囲に燃えやすい物はないか | 適　・　否適　・　否適　・　否 |  |
| 電気器具 | １．電気器具のコードは亀裂、老朽、損傷していないか**点検を実施した防火管理者等の氏名を記入してください。**２．タコ足の接続を行っていないか３．許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか | 適　・　否適　・　否適　・　否 | **報告を受けた管理権原者の****氏名を記入してください。** |
| 点検年月日**〇〇**年**〇〇**月**〇〇**日 | 点検者（防火管理者）**防　管　太　郎** | 管理権原者確認**消　防　次　郎** |

点検を実施し、良の場合は「適」を〇で、不備・欠陥がある場合は「否」を〇で囲むこと。

改修した場合は、備考欄に改修済み等を記入すること。

**別紙１　防災の手引き（集会所利用者用）**

|  |
| --- |
| **【消火器について】****１．消火器の設置場所を確認してください。****２．消火器の使い方を覚えてください。（消火器には本体に使用方法が明示されていますので、確認して操作手順を覚えましょう。）****【火気設備器具について】****１．火気設備器具の周辺は、整理整頓して周囲に可燃物を置かないでください。****２．火気設備器具は、常に監視できる状態で使用し、その場を離れるときは、必ず火を消してください。****３．火気使用設備器具にある取扱い上の注意事項を守り、故障又は破損したままで使用しないでください。****４．地震時には、火気設備器具の使用を中止してください。****５．利用後は、火気設備器具の点検を行い、安全な状態を確認してください。****【喫煙について】****１．喫煙は、指定された場所で、かつ、吸い殻入れを用いて行ってください。****２．タバコの吸い殻は、必ず水の入ったバケツなどに捨て、可燃ごみの中には直接捨てないでください。****３．利用後は、吸い殻の処理（水の入ったバケツに捨てるなど）を確実に行ってください。****【危険物の取扱いについて】****１．危険物（シンナー、ベンジン、接着剤、塗料等）を使用するときは、防火管理者にあらかじめ連絡してください。****【避難施設の維持管理について】****１．出入口、廊下、（階段）には、避難障害となる物品を置かないでください。****【放火防止対策について】****１．建物の外周部及び敷地内には、段ボール等の可燃物を放置しないでください。****２．倉庫、更衣室などを使用しないときは、施錠してください。****３．ゴミ類の廃棄可燃物は、定められた時間に、指定場所に捨てましょう。****【火災時の対応】****１．通報連絡****１１９番通報します。（火災か救急かの種別、所在地、目標、内容など）****防火管理者等に連絡します。****２．消火活動****消火器を使って消火活動を行います。****天井に燃え広がるなど、危険と感じたときは避難してください。****３．避難誘導****責任者等は、避難口（出入口）を開放し、避難口まで利用者を誘導します。****【地震時の対応】****１．まず身の安全を図ってください。****照明器具、ガラス製品、窓等の近くから離れてください。****２．火の始末を行ってください。****揺れを感じたら、火気設備器具の直近にいる人は、火を消してください。** |

**別紙２　火災時の対応について**

**１　火災時の任務（組織図）**

**・通報・・・・・119番通報**

**・初期消火・・・消火器を用いた初期消火**

**・避難誘導・・・メガホンや拡声器を活用した在館者の避難誘導**

**２　実施すべきこと**

**①通報**

**・住所：〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇です**

**・名称：〇〇自治会集会所です**

**・目標：〇〇のどちら側（東西南北）です**

**・何が燃えているのか**

**・逃げ遅れやけが人の有無**

**・自分の氏名、連絡先**

**②初期消火**

**★消火器を使用する場合**

**・　安全ピンを引き抜く**

**・　ホースを向ける**

**・　レバーを強く握る**

**大声で知らせる**



**③避難誘導**

**・館内にいる人に火災の発生を知らせ、指示に従うように伝える**

**・頭を低く、ハンカチ等を口にあてて、煙を吸わないように伝える**

**・非常口へ誘導する**

**・在館者の人数、けが人の有無を確認する**

**非常ベル**

**を鳴らす**

**３　消防隊へ報告すべきこと**

**①出火場所、集会所の名称等**

**②初期消火、避難誘導の状況**

**③逃げ遅れ、けが人の有無**

**１　作成上の活用対象**

　　集会所用の消防計画の作成例は、政令別表第１（１）項ロの集会所で、自治会等が管理する小規模な集会所等（３００㎡未満）の消防計画を作成する場合に活用するものです。

　　なお、３００㎡以上の集会所等でも、利用形態が小規模な集会所等と同等の場合は、この作成例によることができます。

**２　作成上の注意事項**

（１）　作成例は、小規模な集会所の一般的な形態を想定したため、集会所の個々の形態及び建物構造、設備等の設置状況等の実態とその特異性を加味し、適宜加筆して作成してください。

　　　　なお、加筆する場合は、それぞれの該当する項目の末尾に行追加等により記入してください。

（２）　該当しない項目は、斜線又は二重線等により抹消してください。

**３　消防計画各項目について**

**①**防火管理者が防火管理の業務を行う集会所の名称を記入してください。

**例：〇〇自治会集会所、〇〇町集会所など**

**②**消防計画を作成した年月日を記入してください。

**③**防火管理者が防火管理の業務を行う集会所の名称を記入してください。

**④**火災予防上の自主点検を実施する日を記入してくだい。

**例：**点検実施日が決められている場合　**〇月〇日**

　　　毎月決められた日に実施する場合　　**毎月１日**

　　　利用者が点検を実施する場合　**集会所利用時**

**⑤**点検を実施する者の氏名を記入してください。

**例：**点検実施者が決まっている場合　**氏名**　又**は防火責任者**

利用者が点検を実施する場合　**利用者**

**※利用者が点検を行う場合は、責任者又は代表等が実施してください。**

**⑥**点検の実施予定月を記入してください。

**⑦**点検を実施する者の氏名又は役職等を記入してください。

**※防火管理者が実施するように努めてください。**

**⑧**消防用設備等の点検を実施する予定の月を記入してください。

**※点検は、年２回実施しなければなりません。**

**⑨**点検の対象となるすべての消防用設備等を記入してください。

**⑩**消防用設備等の点検を委託した場合は、受託した点検業者の名称を記入してく

ださい。

**例：〇〇防災株式会社　〇〇管理会社**

**⑪**自衛消防訓練を実施する予定の月を記入してください。

**※集会所は、１年間に２回の消火・避難訓練が必要です。**

**１年間に１回の通報訓練が必要です。**

**⑫**実施する訓練種別について記入してください。

**⑬**避難経路図は、平面図等の写しにより避難方向を矢印→で記入し、添付してく

ださい。